

DEPARTMENT OF PEDIATRICS, TSUKIYAMA HOSPITAL

月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (～はチルダ ` =キーボード ` の@の上の ` をshiftで変換)
携帯 http://paa.jp/t/107401/ (アイチケット共通)

月山病院小児科では子ども達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

麻疹(はしか)に注意して下さい

神奈川や福岡などで麻疹が流行し報道でも取り上げられています。和歌山でも3月にはいり数人ですが麻疹の患者さんが発生してきました。今回は麻疹について新しく始まる予防接種を含めお話しします。

麻疹ってどんな病気か。
非常に高い熱(40度以上)が数日間以上続き(場合によっては1週間以上)、熱の途中でぶつぶつがでてくる病気で、咳も強く、体力は非常に消耗します。肺炎や脳炎を合併して死亡することもある大変恐い感染症です。なお昔 三日ばしか と呼ばれたものは麻疹のことであり、麻疹(はしか)とは全く異なる病気で、何が問題なの。

麻疹は非常に感染力が強い病気です。知られている感染症の中では最も強く(インフルエンザよりも強い)接触しなくても同じ空気を吸っただけで感染するとされています。つまり人が集まる場所で知らず知らずのうちに感染してしまい爆発的に広がる恐れがあります。また病気が重症で、体力の劣っている乳幼児や基礎疾患(持病)のある方が感染すると死亡する可能性があるため問題となります。

麻疹の流行時期は。
初春から初夏にかけてが流行時期とされています。つまりこれから最も注意しなくてはなりません。今年3月のこの時期にすでに患者さんが発生しているため急増する恐れがあり、より厳重に注意しなくてはなりません。

麻疹の診断は。
麻疹の初期は高熱以外には咳や鼻汁しかなく、強い風邪程度であり、この時期には診断はほぼできません。高熱が数日間続いた後に、ぶつぶつ がでて始めて診断が可能となります。(そのため病初期に他人にうつしてしまう可能性があります)確定診断は血液検査で行いますが結果には1週間程度かかるため症状でまずは判断することになります。

麻疹の治療は。
残念ながら麻疹に特效薬はありません。咳止めや水分がとれない時の点滴、肺炎が合併した際の抗生物質投与などは行うものの、自分の体力(免疫力)で治すしかありません。そのため体力のない乳幼児や基礎疾患のある方に感染すると重症化してしまいます。

麻疹の予防は。
治療方法がない以上は予防が最も大切です。麻疹にはワクチン(予防接種)があり非常に有効です。予防接種をしていけば、ほぼ麻疹に感染しません。(95%以上の人が接種すると麻疹そのものが消滅すると言われています)ただ近年その効果の持続性が弱まってきました。大学での麻疹の流行が報道されていますが、1歳時に接種したワクチンの効果が20年程度経過すると弱まってしまうため接種したにもかかわらず感染してしまう方がでてくるのが原因の一つとされています。このことは以前から指摘されており麻疹の予防接種の方法が変更となりました。

予防接種の実際は。
平成18年から麻疹との混合ワクチンMRワクチンの接種が1歳と就学前の2回接種となっていました。これによりワクチンの効果持続期間は1回接種に比べ2倍以上長くなります。現在小学校1年生(今年の4月で2年生)以下の学年では、接種をきっちりおこなってこれさえすれば麻疹にはほぼ感染しないと言えるでしょう。

今年から麻疹の予防接種が変わると聞いたけれど。
小学校3年生以上の方は1回接種のまま取り残されることになっていましたが、平成20年4月から5年間の暫定処置で中学1年生と高校3年生で麻疹・風疹の混合ワクチンを接種することになりました。(公費負担による無料接種)これにより今年の高校3年生から以下の年齢では5年後にはすべて2回接種したことになります。今年中学入学のかたは学校から接種券が配付され、高校3年生相当の年齢では個別に連絡がいくとのこと。必ず接種するようにしましょう。ただし一度も接種されていない方はその時期まで待たず自費にはなりますが早期に接種するようにしましょう。

大学生(19歳以上)の人はどうしたらいいの。
19歳以上は公費による予防接種の補助はありません。しかし前述のように19歳以上で流行を認めるため、自費にはなりますが追加接種を受けていただく方がよろしいかと思えます。大学などによっては入学後に接種を勧める文章を配られるところもあるようです。ただ40歳以上では過去に麻疹患者との接触が多かったためワクチンの効果が持続している場合も多く、追加接種の必要性は低いようです。

感染症情報

3月中旬現在の月山病院での感染症情報をお伝えします。
インフルエンザ
インフルエンザはほぼ終息しましたが残存しています。高熱が持続する場合のみご留意ください。
ウイルス性胃腸炎
ウイルス性胃腸炎(吐き下し)は少なくなりましたが、いまだ流行しています。感染力は強く手洗いは厳重に行ってください。

絵本のご紹介

当院小児科スタッフによる絵本の紹介です。お声をかけていただければうれしいです。
書評：ふわふわした素材の感触やかわい動物の絵、隠れているものを発見する喜びや驚きを通じて子供たちの新たな反応が発見できるかも! ?
by 平野



月山病院小児科からのお知らせ

- 4月から水曜日の診察医が変更となります。
水曜日午前診 杉本圭相
水曜日午後診 杉本圭相
水曜日夜診 月山 啓
- 4月23日(水)は急患センター出務のため19時に受付終了させていただきます。(オンライン終了は18時45分です)
- 4月24日(木)午前は月山聖子の診察となります。
- 4月29日(火=昭和の日)は9-12時で時間外対応させていただきます。



今月の顔
あおばちゃん
とつてもよい笑顔